

# 卒業後の生活を考えよう

～個に応じた卒業後の収入や支出を考えるための工夫～

小出特別支援学校川西分校(高等部) 野本 将

## 単元のねらい

- 卒業後の自分の収入が分かる。
- 支出は、生活スタイルに応じて変化することが分かる。
- 自分の収入に合わせて、支出を調整する必要があることが分かる。

## 単元・指導の工夫①

- 【卒業後の生活を思い描く工夫】
- 就労希望先の賃金で、収入を考えた。
  - 想定される生活スタイルを3つ考えた。
    - ①自宅で過ごす場合
    - ②自宅で過ごす場合(年金有り)
    - ③グループホームで生活する場合

## 単元・指導の工夫②

【ワークシートの工夫】

	ネット、通信	5000	10000	15000	20000
交通費	5000	5000	10000	15000	20000
食費	5000	10000	15000	20000	25000
おしゃれ	5000	10000	20000	25000	30000
その他	5000	10000	20000	25000	30000
合計		100,500			

収入: 90000円 - 支出: 100,500円 = 10,500円

- 書式を統一することで記入したり、比較したりしやすくした。
- 生活スタイルに合った金額を選べるように3択にした。

## 生徒の気付き①

＜収入と支出について＞

- グループホームで暮らす場合の支出がイメージできた。
- 生活スタイルによっては、自分の収入では生活が難しいものもある。

## 生徒の気付き②

＜収支の調整について＞



- 娯楽費やおしゃれ費で節約しないと生活が苦しくなることに気付いた。
- 預金をしたくても、卒業後すぐは難しい。

## 成果

- 卒業後の自分の生活スタイルを、イメージすることができた。

## 課題

- 生活費に関わる支出など、保護者も交えた取組が必要である。